

事務事業名		豊月平放牧場電気柵設置事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業							
総合計画	政策名	……3: 産業活性化に向けたまちづくり				所属課	産業振興課	担当	農業振興担当				
	施策名	……3: 農業生産基盤の充実				課長名	高橋 好雄	担当者名	田代 好弘				
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名						
		1	0	5	0	1	0	4	0	2	町営放牧場管理費	関係法令・条例等	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)			
事務事業の概要(事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 豊月平放牧場の放射能除染作業を行っているが、山を利用した放牧場であるため傾斜度13%未満の区域だけが除染作業が可能な区域であり、現時点で除染できない牧草地14箇所が虫食い状にできる見込みだ。除染済牧草地と未除染牧草地を区分けしないと放牧された牛が放射能に汚染された牧草を食べてしまうため、柵の設置が必要となる。来年度の実施にすると新しい牧草が伸び、除染済牧草地と未除染牧草地の境界が不明確になってしまうため、除染作業に引き続き実施したいので補正予算により対応したい。柵の構造は低コストで設置や移設が簡単な電気柵とし、設置は除染作業と同様に県農業振興公社に委託、電牧器等の機器は町が購入し振興公社に資材として支給する。</p> <p>2 概算事業費 電気柵設置業務委託 L=2,300m(高張力鋼線3段張) 委託料 4,200,000円 電牧器等(電牧器、太陽電池パネル、バッテリー等) 2台 備品購入費 441,000円</p>											

(1) 事務事業の目的と指標															
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	除染済牧草地と未除染牧草地の区分け	➡	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)</th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>未除染牧草地の数</td> <td></td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>電気柵の延長</td> <td></td> <td>m</td> </tr> </table>	④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		名称	単位	ア	未除染牧草地の数		箇所	イ	電気柵の延長		m
④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)		名称	単位												
ア	未除染牧草地の数		箇所												
イ	電気柵の延長		m												
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	酪農家及び肉用牛・繁殖和牛経営農家	➡	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)</th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>酪農家数</td> <td></td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>肉用牛・繁殖和牛経営農家数</td> <td></td> <td>戸</td> </tr> </table>	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア	酪農家数		戸	イ	肉用牛・繁殖和牛経営農家数		戸
⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		名称	単位												
ア	酪農家数		戸												
イ	肉用牛・繁殖和牛経営農家数		戸												
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	豊月平放牧場での放牧の再開	➡	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)</th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>放牧実頭数</td> <td></td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>放牧場利用農家数</td> <td></td> <td>戸</td> </tr> </table>	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア	放牧実頭数		頭	イ	放牧場利用農家数		戸
⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位												
ア	放牧実頭数		頭												
イ	放牧場利用農家数		戸												

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 実績値 箇所	14	14	14	14	14	14
	イ	目標値 実績値 m	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
対象指標	ア	目標値 実績値 戸	7	7	7	7	7	7
	イ	目標値 実績値 戸	18	18	18	18	18	18
成果指標	ア	目標値 実績値 頭	0	125	55	55	55	55
	イ	目標値 実績値 戸	0	15	7	7	7	7

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
投入費	事業内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	4,641			
		事業費計(A)	千円	4,641	0	0	0
人件費		正規職員従事人数	人	1			
		延べ業務時間	時間	48			
		人件費計(B)	千円	192	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,833	0	0	0	0

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
投入費	事業内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0
人件費		正規職員従事人数	人				
		延べ業務時間	時間				
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町営放牧場なので、放牧できる環境を整えるのは町の責務である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	放射能に汚染された牧草を給餌することはできない。来年度の実施にすると新しい牧草が伸び、除染済牧草地と未除染牧草地の境界が不明確になってしまう。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	木柵や鉄柵等の物理柵よりも電気牧柵は比較的安価で、設置や移設が容易。バラ線柵は牛の乳房を傷つけるので避けてほしいと酪農組合から要望があった。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	今年度は放牧ができないため酪農家等は飼育にかかる労力、飼料代の負担が大きくなっている。放牧が可能になれば利用者は使用料を支払うことになるので、町で全額負担してもやむを得ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 24 年 8 月 22 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・事業費全額、東電請求の対象 ・事後評価はしない ※牛を未除染区域に侵入させないことが目的の事業である。牧柵が適正に設置されれば目的を達成したことになるため、事後評価は実施しないこととする。 メモ 31haの面積のうち、除染後使用できる面積は26.45ha(見込み)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--------------------------------------------	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業